

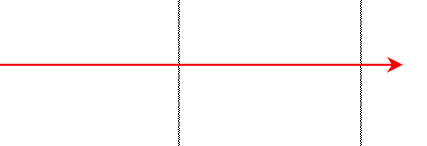
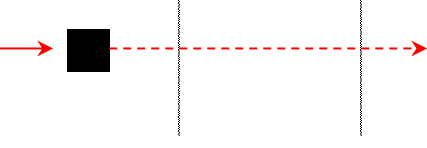
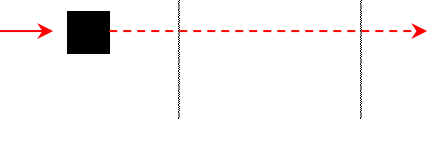





鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 (想定)	達成目標		
					短期 (2～3年)	中期 (5年)	長期 (10年)
全エリア共通	様々な人々の理解と協力のもと、鳥取砂丘の自然環境・生態系の保全・再生、良好な景観形成及びこれらに配慮した利活用		<b>1</b> ・日本や世界における環境問題や社会問題を考えるうえで魅力的な鳥取砂丘は、自然資源とその持続的な利用を考える重要な拠点となる。  【短期】取組の検証 ・鳥取砂丘グランドデザインを実現するための行動計画の点検組織を設置し、取組の実施を検証する。点検する視点として「GSTC-D」（グローバル・サステイナブル・ツーリズム基準）を取り入れる。	鳥取砂丘未来会議、広域観光団体	→■	→	
			<b>2</b> ・統一デザインによる案内看板・サインの整備  未実施個所について配慮して実施	県・市	→■	→	
			<b>3</b> ・街並み景観についての検討（建物、看板、サイン等街並みを構成する構造物など）  継続的に新たな構造物の構築の際に景観に配慮が必要	県・市、民間	→		■
			<b>4</b> ・適切なゾーニングに基づく保安林の造成  長期的な視点での造成が必要	県	→		■
			<b>4-1</b> ・景観を損なう枯松やニセアカシアの枯木の除去  【短・中期】定期的に取組を継続し検証 【長期】定期的に取組を継続し、引き続き継続の要否の検証	県・市、地域団体・鳥取砂丘未来会議	→		■
			<b>5</b> ①季節や一日の移り変わりを活かした各エリアの特徴、資源等を活かした複数のガイドコース、散策ルートを整備 ②季節や一日の移り変わりを活かした各エリアを連携したツアーコース、モデルルート等の企画・開発 ③季節や一日の移り変わりを活かしたモニターツアーの実施等  【短期】複数のコース・ルートを設定 【中期】モニターツアー実施に繋げる	民間、広域観光団体、鳥取砂丘ビジターセンター・県・市	①■ ②■ ③■	→	
			<b>6</b> ・ガイド養成とガイドの活用方策及び活用の仕組づくり  【短期】各主体によりガイドを養成 【中期】活用・仕組みづくりに繋げる	鳥取砂丘ビジターセンター、民間、広域観光団体	→	■	→
			<b>7</b> ・砂丘の新たな「魅力」を提案・発信するイベント企画等の開発、イベント事業等への支援  【短・中期】継続的に「日本一のすなば」魅力まるごと事業による支援 【長期】支援により生まれたイベントの自走化	開発：民間 支援：鳥取砂丘未来会議	→		■

鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 (想定)	達成目標		
					短期 (2～3年)	中期 (5年)	長期 (10年)
	既存施設とアクティビティ等の体験コンテンツの磨き上げや連携強化		<b>8</b> ・ 季節や一日の移り変わりを活かしたアクティビティのさらなる充実  【短・中期】 民間活力により新たな魅力的なアクティビティの誕生 【長期】 魅力的なアクティビティの事業継続	民間			
			<b>8-1</b> ・ 夜の活用及び季節ごとの取組 ・ 地域との繋がりを強くするボランティア活動に参加する機会（大学生と小学生との体験活動）  【短期】 ビジターセンター等主催事業「ナイトウォーク」及び「ちびっ子探検隊」等の周知 【中期】 民間団体と連携強化	鳥取砂丘ビジターセンター、民間			
			<b>8-2</b> ・ 観光客向け公衆シャワー等の設置  【短期】 企画の発案 【中期】 取組の実施、検証	民間、県・市			
			<b>8-3</b> ・ アクティビティ雨天時や体験活動中止時の代替体験の場所調整  【短期】 ビジターセンター企画事業との連携、大砂丘観光協会（事務局：砂の美術館）との連携 【中期】 取組の実施、検証	民間、鳥取砂丘ビジターセンター			
			<b>8-4</b> ・ インバウンドを含めたアクティビティ活動紹介ツアーデスクの設置及び広報、体験活動参加申込みシステムの構築及び広報  【短期】 企画の発案（例：鳥取市観光案内所、鳥取市国際観光客サポートセンター（鳥取駅構内）との連携） 【中期】 取組の実施、検証	民間(企画)、鳥取砂丘ビジターセンター(広報)			
			<b>9</b> ・ 遊びの提供、遊びを提供できる人材の発掘と養成、自然体験プログラム実施団体との連携強化  【短期】 人材の発掘 【中期】 養成と連携強化	鳥取砂丘ビジターセンター・県・市			
			<b>9-1</b> ・ 観光マーケティング人材の配置（データ分析、ターゲティング、ブランディング等を担当）  【短期】 人材の発掘 【中期】 養成と連携強化	県・市、広域観光団体			
			<b>10</b> ・ 専門的な調査・研究を通じて、自然ガイドの人材の発掘と養成  【短期】 人材の発掘 【中期】 養成	鳥取砂丘未来会議・鳥取砂丘ビジターセンター			

鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 (想定)	達成目標		
					短期 (2～3年)	中期 (5年)	長期 (10年)
	周遊性・滞在性の向上		<b>11</b> ・ 駈馳山や覚寺、湯山から国道を経由して砂丘に至るアクセス道路、駐車場、砂丘内の導線、滞留時間の調査・検討並びにイベント時期等における交通渋滞対策の検討・実施による解消による交通利便性の向上  【短期】 前年度の状況に応じて検証・改善しつつ実施 【中期】 解消に向けた検討・取組を進める 【長期又はそれ以降】 交通利便性向上に向けた検討	県・市			
			<b>12</b> ・ 鳥取市を中心に、岩美町、八頭町、智頭町、若桜町での、関連のあるテーマ性（ジオ、街道、食、民芸、温泉、童謡など）を持たせた体験型・着地型メニューの企画造成  実施状況を把握し検証していく	広域観光団体			
			<b>13</b> ・ 混雑時でも滞在者がストレスなくネット環境を享受できる通信環境の整備  状況に応じて検証・改善を図る（県：TOTTORI Free Wi-FiをR7年度より導入）	県・市、民間			
			<b>14</b> ・ 砂丘全体を周遊させる仕組みづくり  【短期】 新しい施設の開業に応じた（ターゲットのニーズに合った）仕組み作り 【中期】 仕組みの検証と磨き上げ	県・市、広域観光団体			
			<b>14-1</b> ・ エリアを周遊できるシステムの整備  周遊するための取組（観光シェアサイクル・砂丘東西周遊タクシーの実証実験）は次々と新たに立ち上がっているため、検証し効果的であれば継続	民間、県・市			
			<b>14-2</b> ・ 鳥取砂丘の「利便性向上」を図る取組を検証 →来場者（お客様）が抱く、鳥取砂丘観光の課題（不便）を調査・分析 →各事業所が抱く、鳥取砂丘観光の課題（不便）を調査・分析（事業所・お客様目線の両方） →マーケティング手法・財源確保手法を検証  【短期】 現状の把握・企画案の立案 【中期】 企画の実施	民間、市			



鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 (想定)	達成目標		
					短期 (2～3年)	中期 (5年)	長期 (10年)
	インバウンドを視野に入れた引き出しやすくわかりやすい情報発信	【再掲】	15・施設整備やツアーコースの企画検討にあたっては、各世代やインバウンドも楽しめるよう配慮した取組み  検証し必要に応じて見直す	県・市、民間	→■	→	→
			8-4・インバウンドを含めたアクティビティ活動紹介ツアーデスクの設置及び広報、体験活動参加申込みシステムの構築及び広報  【短期】企画の発案 【中期】取組の実施、検証	民間、鳥取砂丘ビジターセンター（広報）	→■	→	→
			15-1・インバウンド向けに一体的な体験サービスを提供する仕組みの構築及び広報  【短期】企画の発案 【中期】取組の実施、検証	民間、鳥取砂丘ビジターセンター（広報）	→■	→	→
			16・統一性と広がりのあるインバウンドにも対応した情報発信に取り組む（散策ルートの提案、誘導標識、マップ・リーフレットの整備など）  現行の情報発信の見直しや新たな情報発信を実施	鳥取砂丘ビジターセンター・県・市	→■	→	→
			17・鳥取砂丘の歴史や鳥取砂丘にまつわる文化等に関する資料の集約整理  現行の収集状況の検証を行いつつ整理を進める	鳥取砂丘ビジターセンター・県・市	→■	→	→
特別保護地区等中央エリア	砂が動く砂丘を再生するとともに砂とふれあう体験を創造します	自然の砂の動きの解明	18・砂丘の地形変動に係る調査研究  【短期】定期的な測量によるモニタリング等 【中・長期】測量結果に基づく研究と成果公表	鳥取砂丘未来会議	→	→	→■
		自然のサイクルを考慮した砂丘の育成と保全	19・サンドリサイクル事業の実施と効果検証（PDCA） ※一部東側エリアを含む  【短・中期】継続した事業実施とモニタリング 【長期】効果検証など	県	→	→	→■
		植生の管理と持続的な除草の取組	20・植生マウンドの固定化と深掘れされた谷地形の流動化及び火山灰露出地の保護研究  【短・中期】流動化のための試験的な取組の実施とモニタリング 【長期】取組の検証	鳥取砂丘未来会議	→	→	→■

鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 (想定)	達成目標		
					短期 (2～3年)	中期 (5年)	長期 (10年)
			21・モニタリングに基づき、砂丘に生きる動植物の生息環境を維持しつつ計画的・持続的な除草活動に取り組む  【短・中期】継続した事業実施とモニタリング 【長期】取組の検証	鳥取砂丘未来会議	<div></div>	<div></div>	<div>■</div>
			22・除草草のアップサイクル（再活用）等による活用の推進、商品開発及び環境学習の展開の推進  除草草のアップサイクル（例：チガヤの和紙化）を活用した取組等の推進	県及び鳥取砂丘ビジターセンター	<div>■</div>	<div></div>	<div></div>
	「砂丘のもつ多様な価値、魅力」をしっかりと伝えていきます	砂丘のもつ多様な価値、魅力を伝える	23・動植物に関する基礎調査、研究、保全活動及び環境学習の展開の推進  【短・中期】基礎調査、研究と保全活動の継続及び環境学習の展開の推進 【長期】検証	鳥取砂丘未来会議	<div></div>	<div></div>	<div>■</div>
			24・保全と調和した利活用の推進  【短・中期】「日本一のすなば」魅力まると事業の事案毎の保全の観点からの検証 【長期】利活用による保全に対する影響の検証	民間	<div></div>	<div></div>	<div>■</div>
			25・ゾーニングによる利活用の推進  【短・中期】ゾーニングを示して活用、ゾーニングの見直し 【長期】ゾーニングの効果検証	鳥取砂丘未来会議、民間	<div></div>	<div></div>	<div>■</div>
		ジオサイトの保全と活用	26・追後スリバチ、火山灰露出地、オアシス等の保全活動  【短・中期】保全活動の定期的なモニタリング 【長期】活動の検証	鳥取砂丘未来会議	<div></div>	<div></div>	<div>■</div>
			27・定期的に地形測量・火山灰露出地の分布状況等調査を実施し、追後スリバチ、火山灰露出地、オアシス等の成因研究、保全等に活用  【短・中期】定期的な測量・調査及び研究 【長期】保全等に活用	鳥取砂丘未来会議	<div></div>	<div></div>	<div>■</div>
			28・どうすればその地形をより長く保全・再生することができるのか、海外・国内の砂丘地の類似地形、鳥取砂丘の特徴的要因を調査研究  必要に応じて実施	鳥取砂丘未来会議	<div></div>	<div></div>	<div>■</div>
			29・ゴミ（海岸漂着ゴミも含む）のない雄大な鳥取砂丘を美しく見せるための継続的な取組	鳥取砂丘未来会議、自然公園財団・鳥取砂丘美化運動推進協議会・民間(ボランティア団体)、県・市、環境省	<div></div>	<div></div>	<div>■</div>
					<div></div>	<div></div>	<div></div>

鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 （想定）	達成目標		
					短期 <small>(2～3年)</small>	中期 <small>(5年)</small>	長期 <small>(10年)</small>
		保全再生の必要性を理解し、進んで活動する人材の育成	<div>【短・中期】日々の取組を維持しつつ見直し</div> <div>【長期】取組の検証</div>				
			30・スリバチを含めて動線を確保のうえ、保安林内を散策できる程度に下草刈をし、利用者を呼び込む取組み	県・鳥取砂丘未来会議	<div></div>	<div></div>	<div>■</div>
			<div>【短・中期】定期的な下層植生処理</div> <div>【長期】下層植生処理の検証</div>				
			31・番地を示した調査杭を活用した砂丘案内の取組み	鳥取砂丘未来会議・鳥取砂丘ビジターセンター	<div>■</div>	<div></div>	<div></div>
			<div>新たな案内ツール作成の際に考慮が必要</div>				
			32・鳥取砂丘ビジターセンター来館者及び学校等での講座等様々な機会を捉えて、保全再生に取り組む実践活動を紹介し、人材発掘・養成に取り組む	鳥取砂丘ビジターセンター・鳥取砂丘未来会議	<div>■</div>	<div></div>	<div></div>
			<div>検証しつつ継続して実施</div>				
		33・ボランティア除草の拡大と効率的な機械除草の推進	鳥取砂丘未来会議	<div>■</div>	<div></div>	<div></div>	
		<div>年度ごとの除草計画に基づき継続して実施</div> <div>インバウンドをターゲットにした広報を強化する。</div> <div>機械除草の手法を検討</div>					
		34・出前講座・授業等での環境学習の推進	鳥取砂丘ビジターセンター・鳥取砂丘未来会議	<div>■</div>	<div></div>	<div></div>	
<div>鳥取砂丘の自然環境の保全と持続可能な活用について学び、自然との共生意識を育てる。</div> <div>除草草のアップサイクル（例：チガヤの和紙化）を活用した取組等の推進</div>							
35・除草体験への効果的な集客方法として関係機関と連携した情報発信の取組み	鳥取砂丘未来会議	<div>■</div>	<div></div>	<div></div>			
<div>アダプト除草参画企業・団体の拡大や企業研修での除草活動等の取組の推進</div>							
砂丘の景観の改善を進めます	人間活動とのバランスを考慮した慎重な取組	36・景観阻害要因（意識）調査と伐採の影響に関する調査	鳥取砂丘未来会議	<div>■</div>	<div></div>	<div></div>	
		<div>適宜モニタリングにより実施</div>					
		37・眺望を阻害する樹木の伐木等手入れ、管理	県・市・地域団体	<div></div>	<div>■</div>	<div></div>	
		<div>【短期】定期的な景観改善のための伐採</div> <div>【中期】伐採した効果の検証</div>					
			38・道路設備（ガードレール等の色彩）の景観配慮、植樹帯（キョウチクトウ）の見直し	県	<div></div>	<div></div>	<div></div>



鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 (想定)	達成目標		
					短期 (2～3年)	中期 (5年)	長期 (10年)
			※保留となっている事業（No.12関連） 【短期】 未来会議として実施に向けた要望活動を行う 【中・長期】 県において施工				
西側エリア	砂丘の楽しさを体験しながら、歴史、文芸、環境を学ぶ取組を進めます	学校、教育機関と連携して砂丘を楽しむ機会や場の提供	39 ・ 学校、教育機関と連携して砂丘を楽しむ機会や場の提供の充実（体験学習的な活動事例を集約整理し、体験プログラムのコンセプトやテーマをメニュー化）  実施事業を検証しつつ継続	鳥取砂丘ビジターセンター	→ ■		
		西側エリアの資源を活用した体験や砂丘と関わりを深める取組	40 ・ 鳥取砂丘フィールドハウス、ヤマタ鳥取砂丘ステーション等砂丘西側既存施設の連携した事業創出  【短期】 さまざまな連携事業の実施 【中期】 実施事業の検証と継続	鳥取砂丘ビジターセンター、民間、県・市	→	■	
			41 ・ 地域資源（未利用施設・土地等）の利活用の検討  民間の活力により適宜開発	民間	→	■	
			42 ・ 鳥取砂丘フィールドハウス、アリドドーム、こどもの国、ヤマタ鳥取砂丘ステーション等を活用した体験学習の取組  【短期】 企画の発案 【中期】 取組の実施、検証	鳥取砂丘ビジターセンター、県・市、国立大学法人、民間	→	■	
			43 ・ 鳥取砂丘フィールドハウスと周辺施設（鳥取砂丘こどもの国、ヤマタ鳥取砂丘ステーション、SANDBOX TOTTORI等）や関係機関（乾燥地研究センター、ルナテラス等）との連携した企画の展開  【短期】 企画の発案 【中期】 取組の実施、検証	鳥取砂丘ビジターセンター、県・市、民間	→	■	
			43-1 ・ 西側入口周辺に多言語対応を含む観光案内サポートを担うコンシェルジュ機能の設置  民間の活力により適宜開発	民間	→	■	
		【再掲】	8-4 ・ インバウンドを含めたアクティビティ活動紹介ツアーデスクの設置及び広報、体験活動参加申込みシステムの構築及び広報  【短期】 企画の発案 【中期】 取組の実施、検証	民間、鳥取砂丘ビジターセンター（広報）	→ ■		

鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

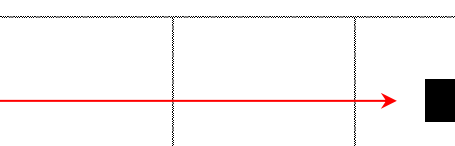
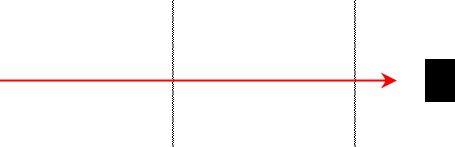
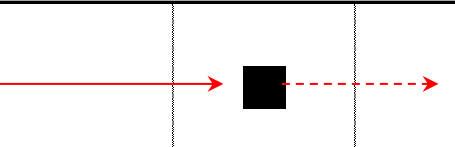
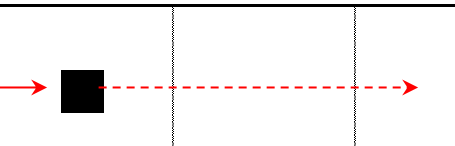

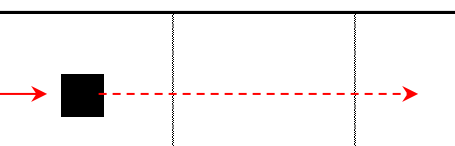
R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 (想定)	達成目標		
					短期 (2～3年)	中期 (5年)	長期 (10年)
			<b>44</b> ・地域資源（文学的、歴史的資源等）を発掘・整理、体験メニュー化  【短期】発掘・整理 【中期】体験メニュー化	鳥取砂丘ビジターセンター・ 県・市			
	飛砂防備保安林のあり 方を検討していきます	「砂の動く砂丘」、景 観・眺望の観点から保 安林のあり方の検討	<b>45</b> ・保安林の必要な機能の再評価を行い、機能保全する範囲を検討・明確化し、景観の改 善を図る。再評価によって森林として保全しながらレクリエーションへの活用を検討  【短・中期】保安林の生育状況に応じた対応 【長期】レクリエーションへの活用	地域団体			
		保安林の活用方策の検 討	<b>46</b> ・地元による適切な保安林管理と併せて、保安林内散策コースの整備  【短・中期】保安林の生育状況に応じた管理 【長期】散策コースの整備	地域団体			
多鯰ヶ池 エリア	観光客に神秘的な雰囲気を持つ多鯰ヶ池をア ピールする取組を行います	多鯰ヶ池周辺の眺望改 善と人を呼び込む取組 み	<b>47</b> ・子供の国交差点から鳥取砂丘入口交差点付近まで両側の道路法面の伐採及び眺望を阻 害する樹木の伐木等手入れ、管理  【短期】定期的な伐木等の取組 【中期】国有林エリアの一部伐採の実施	県・市・地域団体			
			<b>48</b> ・多鯰ヶ池周辺の環境整備を行う（施設整備及び景観改善）  探勝路、木道、駐車場等の整備、探勝路等の整備、景観改善	県・市・地域団体			
			<b>49</b> ・景観保全（関係者による定期的な除草、雑木伐採、清掃等）の取組み  【短・中期】定期的な除草、雑木伐採、清掃等、活用団体への呼びかけ 【長期】スイレンの適切な管理方法の確立と実施	地域団体、民間（活用団体）			
		多鯰ヶ池の新たな利活 用方策	<b>50</b> ・多鯰ヶ池の付加価値を高める企画の開発（体験学習、自然観察会等の実施、お種弁天の P R など）  取組可能なものから順次実施	地域団体			
			<b>50-1</b> ・インバウンド向けに、森林浴の癒し体験やアクティブに楽しめる体験を拡充 ・地元で生産するお米（おにぎり）、らっきょう、梨を提供する場所をツアーガイドに 加える。  取組可能なものから順次実施	地域団体			



鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 (想定)	達成目標		
					短期 (2～3年)	中期 (5年)	長期 (10年)
			<b>51</b> ・ 周辺の観光梨園等との連携手法の検討  【短期】 木道の延長 【中期】 連携手法の検討	地域団体			
	学術的な調査研究に取り組み、魅力を高めます。	特別保護地区等中央エリアと一体として地学的な調査	<b>52</b> ・ 水質・水位・水深、地質分布、追後スリバチ・オアシスとの水脈相関など、体系的・優先順位付けして調査  長期的な視点で優先順位付けを行い実施	鳥取砂丘未来会議			
		多鯰ヶ池及び周辺の生態的な調査	<b>53</b> ・ 生物（野鳥、昆虫など）、植生、周辺樹林相など、体系的・優先順位付けして調査  長期的な視点で優先順位付けして実施	鳥取砂丘未来会議			
東側エリア	自然景観と調和のとれた商業施設エリアの形成に取り組みます		<b>54</b> ・ 入場者の通行路確保のため、砂丘入口付近の砂移動を継続実施  【短・中期】 継続した取組が必要 【長期】 保安林の生育状況に応じて部分的には不要となる	県・市、鳥取砂丘未来会議			
			<b>54-1</b> ・ 砂丘商店街の景観改善  【短期】 鳥取砂丘らしさを活かした景観改善の方策検討（例：「鳥取砂丘エリア国立公園利用拠点計画」の勉強会） 【中期】 取組の実施、検証	民間、環境省、県・市			
	らっきょう畑の眺望、景観を保全しながら活用を図ります		<b>55</b> ・ らっきょう等収穫体験ツアーの組み合わせ等のような農業と商業、観光が連携した民間ベースの取組事業の促進  検証しつつ継続実施	観光団体			
	「砂丘のもつ多様な価値、楽しみ方」をしっかりと伝えていきます		<b>56</b> ・ ストーリーのある素材や砂丘を連想させる食の提案、名物の開発  民間の活力により適宜開発	民間			
	地域の素材を活かした取組		<b>57</b> ・ ジオサイト素材（ラッキョウ畑、一ツ山離水海食洞など）を整理・発掘、保全等  検証しつつ継続実施	地域団体			

鳥取砂丘グランドデザイン行動計画

R8.1.16

エリア名	取組の 方向性	項目	行 動 計 画	実施主体 (想定)	達成目標		
					短期 (2～3年)	中期 (5年)	長期 (10年)
	滞在性・周遊性を高める取組		<b>58</b> ・鳥取砂丘ビジターセンターと周辺施設や関係機関との連携  【短期】企画の発案 【中期】取組の実施、検証	鳥取砂丘ビジターセンター・ 県・市			
			<b>59</b> ・駐車場の確保  必要に応じて実施	県・市、民間			
			<b>60</b> ・地域資源を有効活用した周遊の促進  ①オアシス広場のさらなる有効活用策の検討 【短期】地元住民からの意見聴取等 【中期】有効活用策の検討	県・市・民間			
			②砂丘海水浴場の再開と砂盛イベントの復活 民間の活力により実施				
			③奥行きのある砂浜の有効活用策の検討 民間の活力により実施（R6アウトドア複合施設オープン）				
			④広大なラッキョウ畑を活かした誘客促進 民間の活力により実施				
			⑤エリア唯一の日帰り温泉施設・温水プールを活用した企画の展開 民間の活力により実施				
			<b>61</b> ・新たなイベント・アクティビティの展開  民間の活力により展開	民間			

※ 当計画は、年度ごとに進捗を確認し、検証していく。